

質問回答

NO.	質問	回答
1	仕様書 3(2)3)について、「生物試料 45 検体以上を対象に、」とありますが、検体数の想定は総水銀の分析 92 検体程度と炭素・窒素安定同位体比の分析 30 検体程度の合算の 122 検体程度という認識でよろしいでしょうか。	ご認識の通りです。
2	仕様書 3(4)5)について、「宿泊費・謝金は、APMMN 年次会合期間分を含むこととする。」とありますが、本項の当該会合は APMMN 年次会合と開催場所、期間が異なると予想されることから誤記かと存じますが如何でしょうか。	ご指摘の通り ICMGP が正しい表記であり、APMMN は誤記です。申し訳ありません。
3	別添 4 提案書様式 2.3 の「仕様書 3(4)1)、2)及び 5)の業務内容」について、別添 5 の技術上の基準において下記を評価することになっておりますが、仕様書の該当項目は「仕様書 3(4)1)、4)及び 5)の業務内容」ではなく、「仕様書 3(4)1)、2)及び 5)の業務内容」でよろしいでしょうか。 基礎点：途上国等の水銀モニタリング能力強化支援の実施方針が具体的かつ合理的に提案されていること。また、水銀に関する国際会議での発表セッションの企画・検討に当たっての基本的な方針が提案されていること。 加点：アフリカ・アジアのモニタリング技術者向けの研修の内容、及び水銀に関する国際会議での発表セッションの企画方針に実現性があり、日本の公定測定法の優位性を発信できる構成が示されているか。	提案書作成要領、提案書様式、評価基準表の「仕様書 3(4)1)、2)及び 5)の業務内容」の記載は、全て「仕様書 3(4)1)、4)及び 5)の業務内容」の誤記でございます。大変申し訳ございません。